

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	瀬長 美佐雄(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 次期沖縄振興計画にSDGsの視点を貫く意義と期待される効果、啓発・普及の取組。</p> <p>(2) 「誇りある豊かな沖縄」「新時代沖縄」「沖縄を平和の緩衝地帯に」などに込めた知事の思い。次期振興計画への反映について。軍事基地のない沖縄の実現について見解を問う。</p> <p>(3) 「細胞培養加工施設」の実現を求める豊見城市民の声が高まっている。同事業の将来性、次期振興計画での位置づけ、豊見城市での実現について問う。</p> <p>2 コロナ禍における県民の命を守り、暮らしの支援を求めることについて</p> <p>(1) コロナの影響を受け経営が厳しい医療機関への支援の拡充について</p> <p>ア コロナ感染者治療指定・協力病院等への空床補償の取組及び医療従事者などへの慰労金支給事業の状況を問う。</p> <p>イ 医療機関の経営実態及び感染対策への支援状況。赤字補填を国に要請をすること。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス緊急包括支援交付金事業について</p> <p>ア 感染症対策支援や介護サービス再開に向けた支援、職員への慰労金の支援などの取組、交付状況を問う。</p> <p>3 高齢者福祉、生活保護などの拡充について</p> <p>(1) 特養、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、認知症グループホーム等の施設数と入所者数、待機者の状況と整備計画、事業所都合による入居者退去等への支援策など問う。</p> <p>(2) 沖縄県住宅支援事業の実績及び効果。コロナ禍で拡充すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 年金生活者の生活、収入実態、平均年金額、無年金者数及び無年金対策の取組を問う。</p> <p>(4) 高齢基礎年金の「振替加算」の未支給問題について、未申請者数などの実態。関係機関とともに制度の周知が重要と思う。対応を問う。</p> <p>(5) 生活保護行政の拡充について</p> <p>ア 保護適用状況の推移、申請から決定に至る迅速対応、クーラー設置助成、通院・移送費等の適用状況と改善への考えを問う。</p> <p>4 豊見城市の生活環境の改善、整備計画について</p> <p>(1) 市内の県道整備計画と進捗状況及び電線地中化について問う。</p> <p>(2) 市街化調整区域区分見直しの決定までのスケジュール及び市民の声を反映させる取組状況を問う。</p> <p>5 世界のウチナーネットワーク構築の強化について</p> <p>(1) 10月30日「世界のウチナーンチュの日」の取組。</p> <p>(2) 次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業の概要と期待される効果について</p> <p>(3) 世界のウチナーンチュセンター設置支援委員会からの要望及び協議状況、次期振興計画でのセンター実現が期待されるがどうか。</p> <p>(4) ワシントン沖縄事務所における沖縄県系ネットワーク及び留学生との連携を問う。</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	瑞慶覧 功(ていーだネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 新型コロナ対策について</p> <p>ア 全国知事会会長の飯泉徳島県知事は感染拡大地域を「目的地」とする旅行を制限する政府方針に対し、感染拡大地域を「出発地」とする旅行の制限を求めた。得策と思われるが所見を伺う。</p> <p>イ 神奈川県黒岩知事は「医療現場が逼迫し県民と危機意識を共有しなければならない」との理由からGoToイート食事券の販売を中断した。感染状況が落ち着き次第再開するとしている。賢明な判断だと思われるが所見を伺う。</p> <p>ウ クリスマスや正月を控える中、感染が拡大し緊急事態宣言が発出されることがあってはならない。県民の命を守るために今、感染防止対策に重点を置くべきだと思う。GoToキャンペーン適用の継続、除外について対応を伺う。</p> <p>(2) 首里城の復元について 名実ともに沖縄のシンボルとするためには、国から県への所有権移転を求めるべきと思うが所見を伺う。</p> <p>2 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 新型コロナ感染状況について</p> <p>ア 県内80代以上の方は何人か、コロナウイルスによる死者数、年代別の状況と全国との比較、分析、評価を伺う。</p> <p>イ 沖縄県の感染者数10万人当たり比較割合が全国的に高い要因は何か伺う。</p> <p>ウ 県内の地域ごとの感染状況と感染レベルについて伺う。</p> <p>エ 県内の11月21日～23日、3連休明けの感染状況と分析、評価を伺う。</p> <p>オ 米軍関連、基地ごとの感染者数、海兵隊・空軍等所属ごとの感染者数、家族・軍属の感染者数を伺う。</p> <p>3 基地問題について</p> <p>(1) 多発する米軍関連事件について</p> <p>ア 米軍関係者による復帰後、2019年末までに発生した殺人、強盗、放火、強制性交等の凶悪犯罪、摘発件数580件の事件ごとの内訳を伺う。</p> <p>イ 今年の刑法犯摘発件数と事件内容、見解を伺う。</p> <p>ウ 県は相次ぐ米兵による事件を受け、抗議のため米海兵隊と在沖米国総領事館のトップを県庁に呼び出したが拒否された。理由は何か、抗議すべきである。対応を伺う。</p> <p>エ 復帰後これまで県の抗議、呼び出しに対する米軍機関の対応を伺う。</p> <p>オ 2017年4月を最後に米軍人・軍属等による事件・事故防止のためのワーキング・チームは開かれていない。その原因は何か、県の対応を伺う。</p> <p>4 首里城の再建について</p> <p>(1) 首里城再建事業の進捗状況と事業計画について伺う。</p> <p>(2) 首里城の平成の復元、正殿と全体の事業費と今回、令和の復元事業にかかる予算額について伺う。</p> <p>(3) 現在までに県内外から寄せられた寄附金額、県内・国内・海外ごとの内訳を伺う。</p>			

5 沖縄における在留外国人について

- (1) 在留外国人の出身国別人数、在留資格別(永住者・留学生・技能実習生)の人数を伺う。
- (2) コロナ禍の中、留学生・技能実習生等在留外国人の課題と支援対応を伺う。

6 ウチナーネットワーク県系拠点設置について

- (1) 第3回万国津梁会議において、情報交換や交流活動の拠点をJICA沖縄内に設置し、来年末から始動することとなった。設置目的と意義について伺う。
- (2) 年内に委託業者と契約の予定をしているが、業務概要について伺う。

7 沖縄平和賞について

- (1) 沖縄平和賞の趣旨と事業概要について伺う。
- (2) 沖縄平和賞の賞金と支援募金の概要について伺う。

8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	山里 将雄(ていーだネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 公立北部医療センターについて</p> <p>(1) 基本構想の策定状況について伺う。</p> <p>(2) 基本構想の策定に際し北部市町村の意見聴取を行ったとのことだが、意見内容について伺う。</p> <p>(3) 基本構想策定後、令和3年度の作業スケジュールを伺う。</p> <p>2 河川のしゅんせつについて</p> <p>(1) 緊急浚渫推進事業の概要を伺う。</p> <p>(2) 緊急浚渫推進事業による河川しゅんせつの実績と今後の予定を伺う。</p> <p>(3) しゅんせつ事業の実施について関係市町村とどのように調整しているか伺う。</p> <p>3 台湾ハブの生息拡大について</p> <p>(1) 台湾ハブの県内の生息範囲について伺う。</p> <p>(2) ハブの捕獲(駆除)状況について伺う。</p> <p>(3) うち台湾ハブの捕獲(駆除)状況を伺う。</p> <p>(4) ハブ咬症被害状況について伺う。</p> <p>(5) 駆除の取組について伺う。</p> <p>4 辺野古設計変更承認申請について</p> <p>(1) 変更承認申請の審査の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 2013年の埋立承認申請審査の際の住民意見約3300件に対し、今回の変更承認申請審査では約1万7000件に増えたことについて玉城知事の所見を伺う。</p> <p>(3) 住民意見書の公開について伺う。</p> <p>(4) 名護市長への意見聴取について伺う。</p> <p>(5) 知事の判断時期について伺う。</p> <p>(6) 美謝川切替えについて</p> <p>ア 沖縄防衛局は2014年9月に美謝川の切替えについて、変更申請を提出し、その後取り下げたが、変更の理由と取下げの理由を伺う。</p> <p>イ 美謝川の切替えについて、名護市長の協議及び許可は必要と考えるか伺う。</p>			

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	西銘 純恵(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 コロナ対策について</p> <p>(1) 年末年始にかけて、コロナ感染拡大を防止するためのPCR検査の拡充策、医療崩壊を起こさないための支援策、飲食や中小業者の営業を守る支援策など、コロナ対策が県政の最重要課題になる。県の取組及び7兆円余の予備費活用など政府に財政措置を求めることについて見解を問う。</p> <p>(2) 緊急小口資金や総合福祉資金の貸付実績と12月までの貸付予算額を問う。また、来年1月以降も継続する必要があると思うが、見解と対応について伺う。</p> <p>(3) 感染防止のための営業時間短縮や休業要請に対して、中小業者の営業と雇用を守るために政府が補償を行うことについて</p> <p>2 コロナ禍の中で、子どもの権利を尊重し虐待から守る社会づくり条例を生かした取組が求められると考えるが、次年度の取組を伺う。また、子供の貧困対策はますます重要になり、拡充が期待されている。次期振興計画での位置づけを問う。</p> <p>3 新潟県で昨年11月、1歳児6人につき保育士1人という国の保育基準では人手が足りないということをデータで提示することを目的にした実験を行っている。1歳児6人に対し、保育士1人という国の基準を引上げ、2人の保育士にした調査結果に対する見解を伺う。コロナ禍の中で、保育士の処遇改善と併せた基準引上げが急がれるのではないかと。</p> <p>4 ジェンダー平等の推進について</p> <p>(1) 男女平等度ランキングで世界153か国中、日本は121位と前年110位から大きく順位を下げ、ジェンダー平等の遅れた国となっている。法律で夫婦同姓を強制している国は日本だけと言われている。研究者と市民団体が47都道府県7000人に行った合同調査で、7割が選択的夫婦別姓に賛成をしている。沖縄県は賛成が76.5%、反対7.4%と全国に比べて賛成の割合が5%以上高くなっている。選択的夫婦別姓の早期実現について知事の見解を問う。</p> <p>(2) 今年4月から7月までの非正規雇用で減ったうち7割が女性、休業も男性の7倍というように低賃金や不安定労働を強いられている女性がコロナ禍で深刻な状況に陥っている。医療、介護、福祉、保育、販売など、社会に不可欠なエッセンシャルワークを支える多くが女性の仕事となっている日本のジェンダーの遅れがあらわになった。国連は各国にコロナ対策におけるジェンダー対策を呼びかけたが見解を問う。</p> <p>5 復帰後、米兵と結婚した沖縄の女性は何人いるのか。米兵の夫からDVを受けて、離婚などの手続きをしようとしている女性が、米国との制度の違いで困っている。米兵との家庭問題や交際のトラブルに対応できるように、米軍と連携する相談、支援機関を設置すべきではないかと、対応を問う。</p> <p>6 教育行政について</p> <p>(1) コロナ禍で、次年度はとりわけ、小中学生の就学援助の拡充が必要になると考えるが、市町村の拡充策について問う。入学前の支給や額の拡充はどうなっているか伺う。</p> <p>(2) 中学生の集団飲酒が報道されているが、なぜ起こったのか。教育長の見解を伺う。</p> <p>(3) コロナ禍の中で、親の雇用不安や生活不安が増大しているのではないかと。子供たちにもその影響が出ているというが、子供の不安やストレスを調査把握して対策をすべきではないかと。</p> <p>(4) 不登校の増加している要因に全国学力テストが指摘されているが、見解を問う。2008年と直近のテスト結果と不登校との関連を伺う。全国との比較ではどうか。</p>			

- 7 浦添市仲西1丁目と沢岬の崖崩れ対策の進捗を伺う。
- 8 県営住宅など公営住宅への入居希望者から、保証人がいなくて困っているという声がある。保証人をなくすことについて
- 9 那覇軍港の浦添移設問題について
 - (1) 遊休化している那覇軍港は、2003年以来、軍港の使用状況が公表されなくなっている。県が使用状況の調査を行い、検証することについて
 - (2) キャンプ・キンザー米軍基地の返還は、日米合意された統合計画で2025年度またはその後となっているが、どういうことなのか説明を求める。あと5年で返還できるのか、その後というのはいつのことなのか。
 - (3) 海兵隊の第3上陸支援大隊がキャンプ・キンザーに配備されたと報道されているが、どのような任務を持つ軍隊なのか。
 - (4) 同部隊は第3海兵遠征軍の作戦を支援する部隊だと言われている。キャンプ・キンザーが返還されるどころか、まさに、キャンプ・キンザー兵たん補給基地は浦添軍港と一体化されて、海兵隊の出撃基地として機能が一層強化され、固定化されるのではないか。
 - (5) 浦添軍港建設に反対し、那覇軍港の移設条件なしの早期返還を求めることについて
- 10 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	山内 末子(ていーだネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 平和の緩衝地帯・沖縄創造のための女性サミットについて</p> <p>(1) アメリカで初の女性副大統領ハリス氏が就任する。画期的な誕生となり心からの祝福を送ります。知事就任時から女性サミットの開催を計画していると認識しているが、ハリス氏の多様性・人権派としての期待感は世界からも注目されている。サミットの開催を実現し沖縄から世界へ平和のメッセージを広げたい。見解を伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 万国津梁会議の報告を今後どう結論づけ、基地問題解決へと展開していくのか方向性を伺う。</p> <p>(2) 米シンクタンクの戦略国際問題研究所の報告書が報道され「完成する可能性が低い」「工期延長や工事費増大」など指摘がある。どのような認識を持っているか。こうした動きや米国議会民主党議員の中には沖縄問題に積極的関与を示す議員が出てきた。米国へのアプローチの在り方をあらゆる観点から点検し強化していくことが必要だと考える。見解を伺う。</p> <p>(3) ジュゴンの有無の確認するため、大浦湾内のジュゴン環境DNA採取のための調査が必要だが、制限区域の立入調査の予定について伺う。</p> <p>(4) 安和、塩川からの土砂搬出状況について、県の監視体制はどのように行われているのか伺う。</p> <p>3 コロナウイルス感染症対策の影響について</p> <p>(1) コロナの診療の陰で診療控えの実態があるようだが、コロナに伴う二次被害と捉え、がん診療など様々な医療にどのような影響を及ぼしているか把握する必要があると考えるが計画はあるか。</p> <p>(2) 全国的な第3波が始まり専門家の予測どおりこれまで以上の感染拡大が危惧される。その予防対策は万全に行わなければならない。</p> <p>ア 不足がちだった医療機材のマスク・消毒液・防護服・手袋等の備えは大丈夫か。</p> <p>イ 全国的な感染拡大の状況で、医療現場・施設で前回不足した看護師、医師の応援派遣は厳しいと考えるが、その体制構築について伺う。</p> <p>ウ インフルエンザワクチン接種により医療体制の逼迫予防につながるといわれているが接種状況はどうか。</p> <p>エ 感染者が出た学校の消毒・防除対策は文科省通知どおり職員任せでなく、外部専門家の配置が必要だと考えるが各自治体の教育委員会との連携はできているか。</p> <p>オ 休校や自粛により児童生徒の精神的ストレスがさらに悪化されると思うが、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの人員配置の増員が求められるが計画を伺う。</p> <p>カ 航空便の減便・運休が続き航空貨物輸送力の低下は多くの産業、県民生活に影響を与える。県の「航空物流機能回復事業」等継続した支援、予算の確保が必要である。計画を伺う。</p> <p>4 経済・産業振興について</p> <p>(1) 日本総合研究所発刊の全国幸福度ランキングの発表があった。沖縄県は総合で44位と徐々に順位を上げているが、分野別に見ると仕事47位、生活47位、教育46位と下位が続いている。どう認識し評価しているか。データに基づく対応を伺う。</p> <p>(2) コロナ禍の観光の落ち込みで今年度の観光消費額はとなると想定するか。また観光関</p>			

連の失業率はどれほどになるか。

- (3) 観光事業の回復にはまだ時間を要するとの予想だが、その間の観光振興には国内観光と県内観光・ワーケーションが重要だと言われている。取組状況と支援体制を伺う。
- (4) 厳しい経済状況が続いているが次年度の県経済の見通しは今年度と比較してどのように予測しているか。税収はどうなるのか。
- (5) 沖縄県の所得が全国最低水準にとどまっている。1人当たり所得だけでなく、企業所得も最低である。その実態から脱却する施策を伺う。
- (6) 新たな沖縄振興計画の制度について、OISTを活用した地域の多様な生物・生態系の環境保全・教育の充実を図る人材育成等の体制強化を目的とした沖縄県・市町村との協定の締結の取組が求められているが計画について伺う。
- (7) 冬場の沖縄観光の目玉としてプロ野球キャンプや各種スポーツキャンプ・イベントがある。今年の開催状況はどうか。

5 社会福祉行政について

- (1) 全国一高い若年齢出産は沖縄県の子供の貧困環境の原因の一つになっていると言っても過言ではない。実態把握・環境整備が急がれる中、民間NPOの設立に期待がかかる。県との連携・役割分担について伺う。
- (2) 望まぬ出産・望む出産のバトンの整備のための「特別養子縁組制度」の充実整備について現状と課題を伺う。
- (3) 産後鬱、若年者の自死が全国的に増加しているようだが、県の実態と全国比・対策について伺う。
- (4) 子宮頸がんワクチンの後遺症による問題について、県の現状と課題・対策について伺う。
- (5) 性暴力・性被害・セクシャルハラスメントの被害状況と防止対策について伺う。

6 エネルギー政策について

- (1) 沖縄で期待されるバイオマス発電所の沖縄電力系統に接続されている最新の発電所件数と総発電能力を伺う。
- (2) 電力小売の自由化の進捗を表す新電力企業最新のスイッチング件数・新電力販売電力量シェアを伺う。販売量シェアは全国平均値も伺う。

7 警察行政について

- (1) 青色パト警備の整備状況と実績・課題を伺う。
- (2) 女性警察官の評価・課題・配備体制の状況、併せて全国比についても伺う。

8 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	渡久地 修(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新型コロナウイルス対策について (1) 感染拡大防止についての県方針の柱について (2) エッセンシャルワーカーの定期的なPCR検査の拡充について</p> <p>2 沖縄振興計画について (1) 沖縄戦及び戦後27年間の米軍占領支配と振興計画について (2) 世界と日本及び社会の劇的変化と次期振興計画について (3) 次期振興計画策定への県民の参画について</p> <p>3 沖縄戦の風化を防ぎ、実相を正しく継承するための県庁での特別の努力について</p> <p>4 米軍基地問題について (1) 辺野古新基地建設は不可能ではないか。 (2) 米軍が沖縄をアジア・太平洋の新たな軍事拠点として狙っていることへの県の見解と対応について</p> <p>5 子供の通院医療費の中学までの無料化制度について</p> <p>6 沖縄の自然環境の保全について (1) 戦後、復帰後の埋立面積と割合、全国比、沖縄本島で残された自然海岸について</p> <p>7 首里城再建・復元について (1) 県民の思いや意見をまとめる再建・復興県民会議について (2) 首里城正殿大龍柱について (3) 旧日本軍32軍壕について</p> <p>8 県道29号線と那覇市道鳥堀12号線交差点への信号機の設置について</p> <p>9 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	次呂久 成崇(沖縄・平和)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 医療・福祉行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県立八重山病院隣接の暫定ヘリポート設置と運用について(2) 恒久ヘリポート整備設置に向けた今後の取組について(3) 宮古・八重山圏域のドクターヘリ配備について(4) 地域救命救急センターの設置について(5) 新型コロナウイルス感染症の対応について<ul style="list-style-type: none">ア 介護施設や介護サービス従事者等への対応と取組についてイ 離島の病床確保及び搬送体制の取組について <p>2 農業行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県内肉用牛の血統不一致問題の再発防止の取組について(2) 獣医師養成の取組について <p>3 土木行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 石垣島と竹富町管内の県管理道路の維持管理業務を2019年から民間委託している状況について(2) 新空港アクセス道路及び県道白浜南風見線の整備について <p>4 環境行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県の海洋プラスチックごみ問題の取組と課題について(2) 離島の漂着ごみ及び産業廃棄物の回収と取組について <p>5 観光行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) NPO法人日本ウミガメ協議会附属「黒島研究所」が、建物の老朽化に伴い閉館の危機に直面している。県として支援ができないか、対応、協力ができないか伺う。 <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第7回沖縄県議会(定例会)

12月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	仲村 未央(沖縄・平和)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 日米地位協定第3条が規定する米軍の排他的管理権は、環境や交通基盤、都市整備など県民の生活と健康に重大な支障をもたらしている。以下の取組を伺う。</p> <p>(1) 支障のある公共事業、環境調査等について 公共事業に関し、米軍基地への立入りや共同使用、一部返還が許可されないために工事が滞っている。主要地方道沖縄環状線ではコザ運動公園利用者の安全確保のための歩道整備ができない、2級河川白比川では昨年11月の記録的豪雨で未改修区間から氾濫し床上浸水が起こるなど深刻な影響がある。</p> <p>ア 米軍の許可が得られず、測量、設計、工事等に支障がある公共事業は、沖縄県、市町村それぞれ何件あるか伺う。</p> <p>イ 同じく、実施できない環境調査、文化財調査等について県、市町村の件数を伺う。</p> <p>ウ 立入りや共同使用等の要請から最も長い事案は何年経過しているのか伺う。</p> <p>(2) 嘉手納基地の立入調査について 県企業局がPFOS汚染を指摘してから約5年がたつが、当局の要請にもかかわらず、立入調査はいまだ実現していない。この間日米で合意された取決めや環境補足協定はこの問題に何ら貢献していない。</p> <p>ア 米軍が立入調査を拒否する理由、根拠は何か。</p> <p>イ 米軍の日常的な運用が環境汚染をもたらしている場合について、どのように解決がなされるべきか。政府への要求、新たな制度設計の提言について伺う。</p> <p>ウ 県民の最大の水がめである北部ダム群は、北部訓練場における訓練や流域周辺での墜落事故など度々汚染の危機に瀕し、また、これに次ぐ水源としての比謝川は嘉手納基地からの有害物質にさらされている。ダム共同使用の解除等を含め、より強い姿勢で県民の命の水を守る必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>2 高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分に関する沖縄県の姿勢について 資源エネルギー庁が示す科学的特性マップでは、沖縄県も核のごみ処分場の「適地」とされ、今月19日には同庁が主催する対話型説明会が県内で予定されている。知事は公約において原発建設に反対する立場を明確にしており、受け入れる余地はないものと考えているが、県としての考えを伺う。</p> <p>3 我が会派の代表質問との関連について</p>			